

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 365 号	氏名	野中 孝一
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	中尾 一彦	
	副 査	上平 憲	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、Prostaglandin E₂ (PGE₂)の最終誘導酵素である microsomal Prostaglandin E synthase-1 (mPGES-1)の肝細胞癌治療における臨床的意義について検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 肝細胞癌治療切除症例を対象とし、癌部、非癌部における mPGES-1 の発現を免疫染色切片にて半定量的に評価し、臨床病理学的因子および術後転帰との関連性を検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、非癌部 mPGES-1 高発現群が肝細胞癌の治療切除後早期再発危険群であることを明らかにし、肝細胞癌患者の治療や臨床研究ばかりではなく、癌再発における PGE₂ の関与など基礎研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は肝細胞癌研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			